

平成26年度 ★実施計画 事業評価シート (25年度事業の評価)

1. 事業の概要 (Plan)

事業名	事業No	319 農業振興推進事業			
総合計画	めざまちの姿	6 産業の発展や交流による活力あふれるまち		担当部	市民経済部
	基本計画【施策】	6-②食を守る農業		担当課	農林水産課
関連予算科目	一般 会計	06 款 農林水産業費	01 項 農業費	02 目	農業振興費
	予算事業名	基本事業 (事業1)	農業振興推進費	細事業名 (事業2)	農業振興推進事業
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営	対象	特定の市民 農業者
事業期間	開始年度	-	終了予定年度	-	
事業の目的	産業としての農業を振興するため、農家の経営安定を図る。				
事業の概要	農業の振興を図るため、農業共済事業の推進や農業経営資金への利子助成、農林水産業鳥獣被害対策事業への補助を行う。				

2. 事業の実績 (Do)

事業実績	資金を借りて農業経営基盤強化を目指す農家に利子助成を行った。また、農家が行う電気柵の設置等の鳥獣被害対策に係る事業費を補助した。					
課題	防護柵等設置者の知識、技能の維持・向上					
コスト	事業費 (A)	当初予算額	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
		決算 (見込) 額	4,537 千円	5,441 千円	7,173 千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	3,210 千円	2,163 千円		
		一般財源	176 千円	157 千円	142 千円	
	人件費 (B)		3,034 千円	2,006 千円	7,031 千円	
	人工 (職員数の内訳)		4,778 千円	5,010 千円	4,027 千円	
	トータルコスト (A) + (B)		0.6 人	0.6 人	0.5 人	
		7,988 千円	7,173 千円	11,200 千円		
活動指標	内容		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	農業経営資金償還利子助成実施件数	件	目標	20	20	20
		実績	15	17		
		達成度	75.0%	85.0%		

3. 評価 (Check)

総合判定	<p>A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」</p> <p>《判定理由》</p> <p>農家の経営安定と農業の振興を図るため事業を実施する必要がある。</p>	<p>必要性</p> <p>有効性 優先性</p> <p>効率性</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容 (課題に対する改善等)	個体 (鳥獣) については、有害鳥獣として駆除することも必要であるため、猟友会及び環境課との協力体制を構築していく。

平成26年度 ★実施計画 事業評価シート (25年度事業の評価)

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	323 農業経営基盤強化促進対策事業			
総合計画	めざまちの姿	6 産業の発展や交流による活力あふれるまち		担当部	市民経済部
	基本計画【施策】	6-②食を守る農業		担当課	農林水産課
関連予算科目	一般	会計	06 款 農林水産業費	01 項 農業費	03 目 地域農政総合推進事業
	予算事業名	基本事業(事業1)	地域農政関係経費	細事業名(事業2)	農業経営基盤強化促進対策事業
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営	対象	特定の市民 農業者
事業期間	開始年度	-	終了予定年度	-	
事業の目的	地域農業の中心となる認定農業者及び認定指向農家等の育成を図る。				
事業の概要	地域の中心となる農家(担い手)を育成するため、担い手への農地の集積や担い手が行なう事業への支援及び経営改善計画の認定などを行う。				

2. 事業の実績(Do)

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 認定農業者制度を推進した。 農地の利用権設定業務を行った。 					
課題	認定農業者制度への参加農家が高齢化、減少傾向にある。					
コスト	事業費(A)	当初予算額	平成24年度 3,836 千円	平成25年度 5,784 千円	平成26年度 9,023 千円	
		決算(見込)額	3,644 千円	5,280 千円		
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	1,714 千円	3,139 千円	5,089 千円	
		一般財源	1,930 千円	2,141 千円	3,934 千円	
	人件費(B)	9,556 千円	10,576 千円	12,261 千円		
	人工(職員数の内訳)	1.3 人	1.4 人	1.6 人		
	トータルコスト(A)+(B)	13,200 千円	15,856 千円	21,284 千円		
活動指標	内容		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	認定農業者数	人	目標	90	90	90
		実績	82	82		
		達成度	91.1%	91.1%		

3. 評価(Check)

総合判定	<p style="font-size: 2em; margin: 0;">A</p> <p>《判定理由》</p> <p>農業を守るためには、市が継続して事業を実施する必要がある。</p>	
------	------------------------------------------------------------------------------------------------	--

4. 今後の事業の方向性(Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容(課題に対する改善等)	認定農業者の意向や状況を把握することで、農業経営の近代化と後継者の育成に対する有効な方法を検討していく。また、認定農業者数の増加や認定農業者への農地集積により、耕作放棄地の解消を図る。

平成26年度 ★実施計画 事業評価シート (25年度事業の評価)


1. 事業の概要 (Plan)

事業名	事業No	325 畜産振興対策事業				
総合計画	めざまちの姿	6 産業の発展や交流による活力あふれるまち		担当部	市民経済部	
	基本計画【施策】	6-②食を守る農業		担当課	農林水産課	
関連予算科目	一般	会計	06 款 農林水産業費	01 項 農業費	04 目 畜産業費	
	予算事業名	基本事業 (事業1)	畜産関係経費		細事業名 (事業2)	畜産振興対策事業
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営		対象	特定の市民 畜産業者
事業期間	開始年度	-	終了予定年度	-		
事業の目的	畜産農家の経営安定を図る。 畜産の臭気対策に重点をおいた事業を展開する。					
事業の概要	湖西市畜産環境衛生対策協議会が行う事業に対して補助金を交付する。 また、密閉化・消臭装置設置・消臭飼料等に対する補助事業に対して補助を行う。					

2. 事業の実績 (Do)

事業実績	・臭気対策事業を実施した湖西市畜産環境衛生協議会へ補助した。						
課題	臭気対策事業は進展しているが全面的な臭気問題の解消に繋がっていない。						
コスト			平成24年度	平成25年度	平成26年度		
	事業費 (A)	当初予算額	3,916 千円	3,822 千円	5,670 千円		
		決算 (見込) 額	2,686 千円	1,974 千円	千円		
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	千円	千円	千円		
		一般財源	2,686 千円	1,974 千円	5,670 千円		
	人件費 (B)		4,778 千円	5,010 千円	3,294 千円		
	人工 (職員数の内訳)		0.6 人	0.6 人	0.4 人		
トータルコスト (A) + (B)		7,464 千円	6,984 千円	8,964 千円			
活動指標	内容		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	臭気対策事業実施件数		件	目標	10	10	10
				実績	12	11	-
		達成度	120.0%	110.0%	-		

3. 評価 (Check)

総合判定	A	<p>《判定理由》</p> <p>畜産農家の臭気に対する意識は高いが、対策には費用負担が伴うため、経営の安定と環境対策のため、市が継続して事業を実施する。</p>
		<p>必要性</p> <p>有効性</p> <p>優先性</p> <p>効率性</p> 

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容 (課題に対する改善等)	畜産施設の周辺地域では悪臭が問題となっており、臭気対策は市が継続して取組む必要がある。

平成26年度 ★実施計画 事業評価シート (25年度事業の評価)

1. 事業の概要 (Plan)

事業名	事業No	327 土地改良整備事業			
総合計画	めざまちの姿	6 産業の発展や交流による活力あふれるまち		担当部	市民経済部
	基本計画【施策】	6-②食を守る農業		担当課	農林水産課
関連予算科目	一般 会計	06 款 農林水産業費	01 項 農業費	07 目	土地改良費
	予算事業名	基本事業 (事業1)	土地改良整備費	細事業名 (事業2)	土地改良整備事業
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営	対象	特定の市民 農業者
事業期間	開始年度	-	終了予定年度	-	
事業の目的	農業用施設の長寿命化を図り、既存の施設を有効利用する。				
事業の概要	老朽化が目立つ農業用ため池、排水機場の整備を県営事業で行う。				

2. 事業の実績 (Do)

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 豊川二期事業及び県営土地改良整備事業を推進した。 地域共同による農地・農業用水等の資源の保安全管理と農村環境の保全向上の取組んだ。 					
課題	農業施設の老朽化が進んでおり、改修等の必要な施設が増えるため、事業費は増える傾向となる。					
コスト			平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	事業費 (A)	当初予算額	57,254 千円	50,419 千円	68,495 千円	
		決算 (見込) 額	71,456 千円	45,977 千円		
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	7 千円	7 千円	954 千円	
		一般財源	71,449 千円	45,970 千円	67,541 千円	
	人件費 (B)		5,415 千円	5,574 千円	8,234 千円	
	人工 (職員数の内訳)		0.7 人	0.7 人	1.1 人	
トータルコスト (A) + (B)		76,871 千円	51,551 千円	76,729 千円		
活動指標	内容		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	排水機場の機能保全整備達成率 (整備済機場数/3機場)	%	目標	33	67	67
			実績	33	67	
		達成度	100.0%	100.0%		

3. 評価 (Check)

総合判定	<p>A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」</p> <p>《判定理由》</p> <p>土地改良施設の保安全管理は、地域農業の持続的な経営を支える重要施策であるので、市が継続して事業を実施する必要がある。</p>	<p>必要性</p> <p>有効性</p> <p>優先性</p> <p>効率性</p>
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容 (課題に対する改善等)	施設の更新など多額の費用を要するものについては、補助事業を活用した計画的な整備を行う。